

入山協力金調査結果（速報）

1. 調査概要

目的：大山の環境保全及び施設の維持管理に関し、受益者負担による仕組みを検討するとともに、仕組みの導入がもたらし得る影響について分析

調査実施者：環境省・鳥取県・大山町（業務請負者：公益財団法人日本交通公社）

調査期間：令和元年 10/13（日）・14（月）・19（土）・20（日）・22（火）・26（土）・27（日）
11/2（土）・3（日）・4（月）の合計10日間

調査時間：午前7時～午後5時

調査場所：夏山登山口（阿弥陀堂横）

調査方法：下山してきた登山者に実験への協力を依頼し、理解を得られた登山者に対して調査票と協力金（任意）を納める封筒を配布、その場で回収。調査票は、①協力金の使途の組合せを「山頂トイレの維持管理、携帯トイレの運用、登山道・木道の補修」としたもの／「山頂トイレの維持管理、携帯トイレの運用、植生保護」としたもの、②使途別の金額の記載を求めるもの／求めないもので計4パターン作成し、実施。

人数：調査票回答者1,713人（同行者455人）、調査票未回答の募金者22人（同行者26人）、非協力者1,305人

2. 調査結果

（1）属性（N=1,713）

性別：男性62.2%、女性31.8%、無回答6.0%

年齢：10代1.9%、20代13.1%、30代15.7%、40代25.2%、50代19.6%、60代14.1%、70代以上4.1%、無回答6.2%

居住地：鳥取県外72.2%、鳥取県内20.8%（※米子市内・大山町内9.0%）、無回答7.0%

訪問経験：初めて38.4%、2回15.6%、3回8.1%、4回4.7%、5回5.7%、6回以上22.9%、無回答4.6%

（2）入山協力金の収受

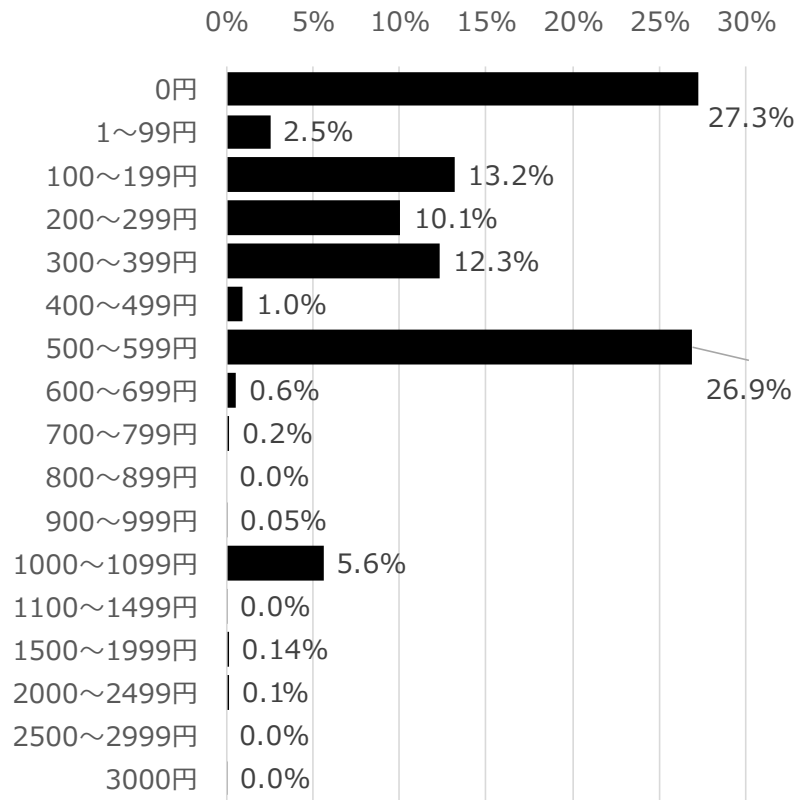
収受金総額：628,036円（※調査票未回答者からの収受額も含む）

人数：直接の募金者1,171人、間接的な募金者（直接の募金者の同行者）441人、募金なし604人（同行者を含む）

一人あたりの募金額（N=2,216）：最低0円、最高3,000円、中央値250円、平均値283円

募金した人のみの募金額（N=1,612）：最低5円、中央値333円、平均値390円

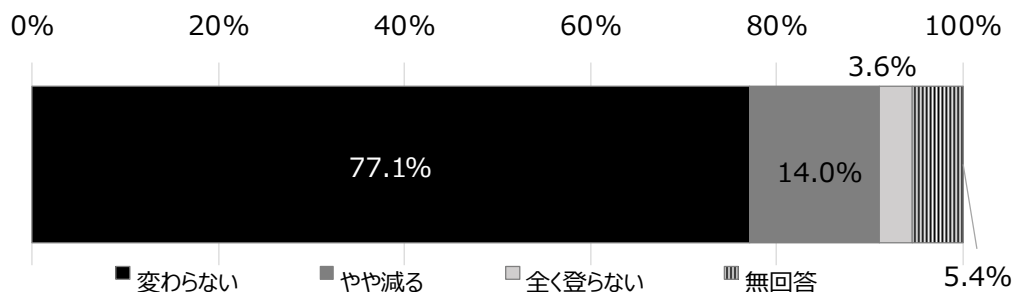
支払額分布 (N=2, 216)



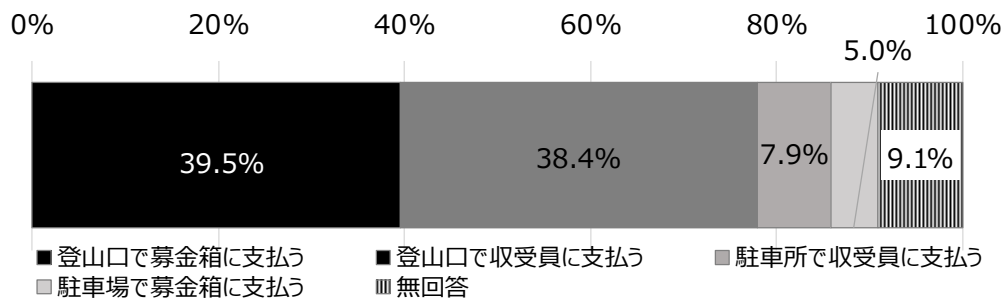
(3) 入山協力金制度導入の賛否 (N=1, 713)



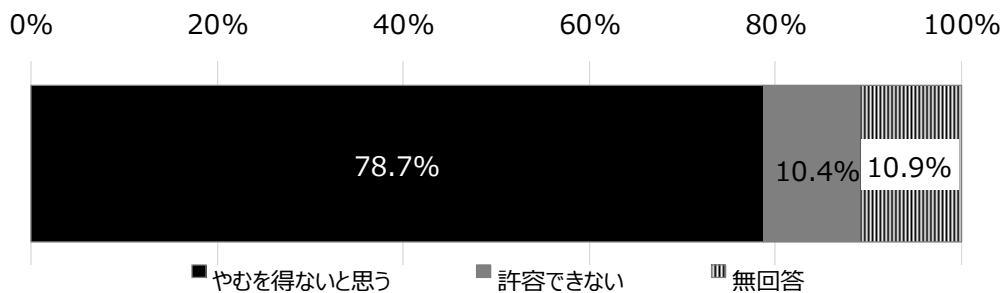
(4) 入山協力金制度導入後の登山頻度 (N=1, 713)



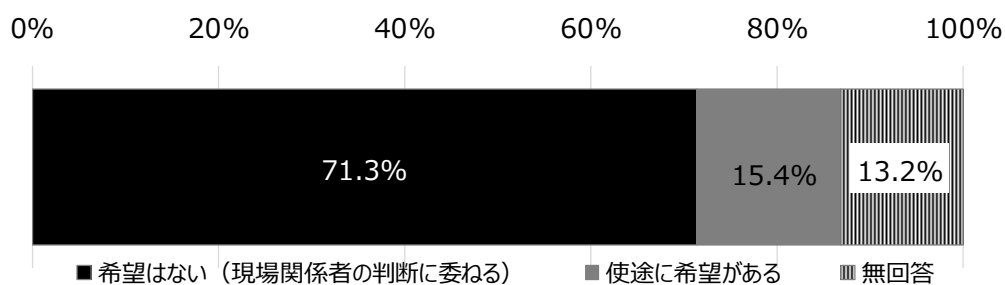
(5) 望ましい入山協力金の支払い方法 (N=1,591)



(6) 入山協力金の一部を事務費に使うことについての賛否 (N=1,591)



(7) 協力金の使途に関する希望 (N=1,068)



(8) 希望する使途 (複数回答)

調査票 1 (N=43) : 山頂トイレの維持管理 86.0%、登山道・木道の補修 60.5%、携帯トイレの運用 18.6%、無回答 11.6%

調査票 2 (N=44) : 山頂トイレの維持管理 81.8%、登山道・木道の補修 72.2%、携帯トイレの運用 13.6%

調査票 3 (N=42) : 山頂トイレの維持管理 73.8%、植生保護 66.7%、携帯トイレの運用 21.4%、無回答 11.9%

調査票 4 (N=36) : 山頂トイレの維持管理 75.0%、植生保護 61.1%、携帯トイレの運用 16.7%、無回答 8.3%

※調査票 1、3 では使途別の金額の記載を求めたが、詳細分析は未実施のため、金額の記載があった使途について「希望あり」として評価した。

(9) 入山協力金の何%がキャッシュバックされるのであれば携帯トイレを利用するか (N=1,068)

「0% (キャッシュバックは不要)」 63.0%、「10%」 3.5%、「20%」 2.5%、「30%」 2.2%、「40%」 0.2%、「50%」 8.7%、「60%」 0.1%、「70%」 0.1%、「80%」 0.4%、「90%」 0.3%、「100%」 3.2%、無回答 15.8%

(10) 入山協力金制度導入に反対する理由 (複数回答) (N=22)

負担したお金が実際にどのように使われるかわからないから 36.4%

頻繁に登山する人は多く負担することになると思うから 36.4%

登山者が負担する必要がないと思うから 31.8%

自然は誰でも自由に享受すべきものだから 27.3%

トイレを利用していないから 18.2%

お金ではない形が適当と思うから 13.6%

その他 13.6%

(11) 満足した点・改善した方が良いと思う点 (自由記載)

満足した点

- ・今回の登山で満足した点を項目別に分類すると、「登山道整備」に関する回答が最も多く 20 件、続いて「自然・動植物の保全や管理」が 3 件、「トイレ」(2 件)、「景色・植生」(1 件)と続いた。
- ・登山道整備については、特に登山道が良く整備されているといった維持管理を評価する回答が多く、なかには前回の登山と比較して登山道が良くなっているという回答も見られた。
- ・トイレや景色・植生については、トイレが設置されていることや紅葉を評価するものであった。

改善した方が良いと思う点

- ・改善した方が良いと思う点は、「登山道整備」に関する回答が最も多く 99 件、続いて「トイレ」(34 件)、「協力金」(30 件)、「情報発信」(8 件)、「ゴミ」(6 件)、「山小屋・避難小屋」(6 件)と続いた。
- ・登山道整備については、登山道の階段の段差が大きい点や歩道の老朽化を指摘する回答が多く見られた。特に石(蛇籠)を固定している針金についてのコメントする回答者が多かった。
- ・トイレについては、山頂以外への設置という回答が最も多く見られた。その他にもトイレを清潔に保つことや携帯トイレを使える場所を増やしてほしいといった回答も見られた。
- ・協力金については、トイレの利用料や入山料の具体的な額を提示する回答者が多く見られた。また、トイレの利用者のみが負担する方が望ましいといった回答も見られた。